

「生物多様性ちば県戦略」の取り組み

生命（いのち）のにぎわいとつながりを子どもたちの未来へ

(4グループ 12戦略)

保全・再生

- ・地球温暖化対策の推進
- ・原生, 里山・里沼・里海, 都市の生態系の保全・再生
- ・野生生物の保護管理

守る

持続可能な利用

- ・農林漁業による生物資源の持続可能な利用
- ・環境の緩和・安定機能の維持
- ・増進・健全な心身と地域文化
- ・生物指標の開発・利用

使う

研究・教育

- ・生物多様性の調査研究の推進とモニタリング体制の整備
- ・生物多様性に関する教育・学習の推進

知る

基盤整備

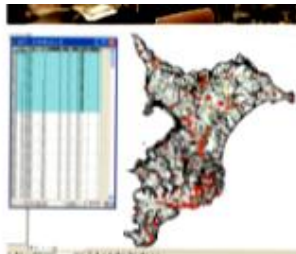
- ・「生物多様性研究センター」等の体制整備
- ・多様な主体との連携・協働の推進

仕組み

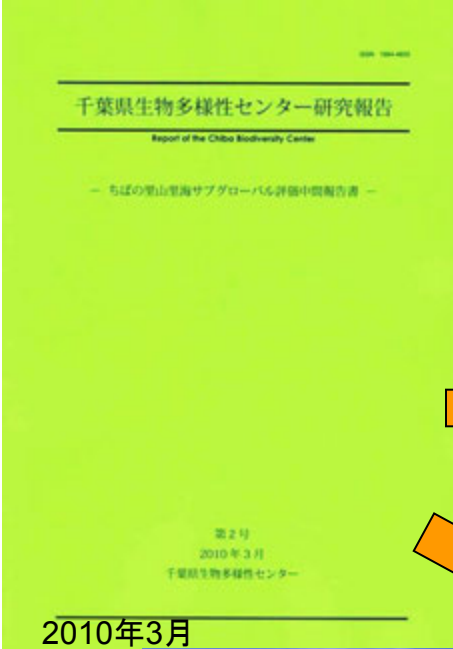
- ・条例等取組推進の仕組みづくり

千葉県自然保護課 生物多様性センター

県立中央博物館(自然誌博物館)と一体の取組



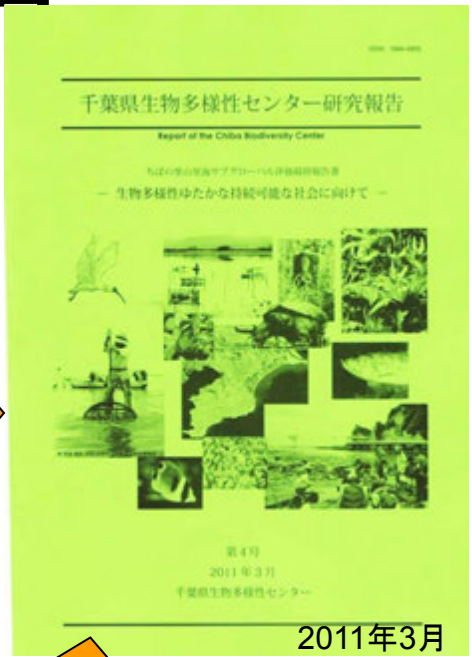
千葉県と日本の里山・里海評価の報告書



2010年3月



2010年10月



2011年3月



2010年10月

**生態系のモザイク
構造をふまえた
新たなコモンズ創出**

**生態系サービスや
生物多様性の共同管理
システムを世界に展開**



2010年3月

Satoyama and Satoumi

里山・里海

自然の恵みと人々の暮らし

国際連合大学高等研究所 / 日本の里山・里海評価委員会 (編集)



本書を推薦します

エドゥアルド S. ブロンディジオ

【インディアナ大学ブルーミントン校人類学部教授・学部長】

トーマス・エルムクヴィスト

【ストックホルム大学システム生態学部兼ストックホルム・レジリアンス・センター教授】

ハロルド・ムーニー

【スタンフォード大学環境生物学教授】

谷本正憲

【石川県知事】

A.H. ザクリ

【マレーシア政府科学顧問】

朝倉書店

2012年3月

(ABC 環 発行編)

Satoyama-Satoumi Ecosystems and Human Well-Being

Socio-Ecological Production Landscapes of Japan



Edited by Anantha Kumar Duraipappah
Koji Nakamura
Kazuhiko Takeuchi
Masataka Watanabe
Maiko Nishi

2012年3月

人間社会の あゆみ

グローバル

流通貿易

外部
依存

近代
技術

開発・
都市化
の時代

里山里海
の時代

狩猟・
採集の
時代

地産地消

ローカル

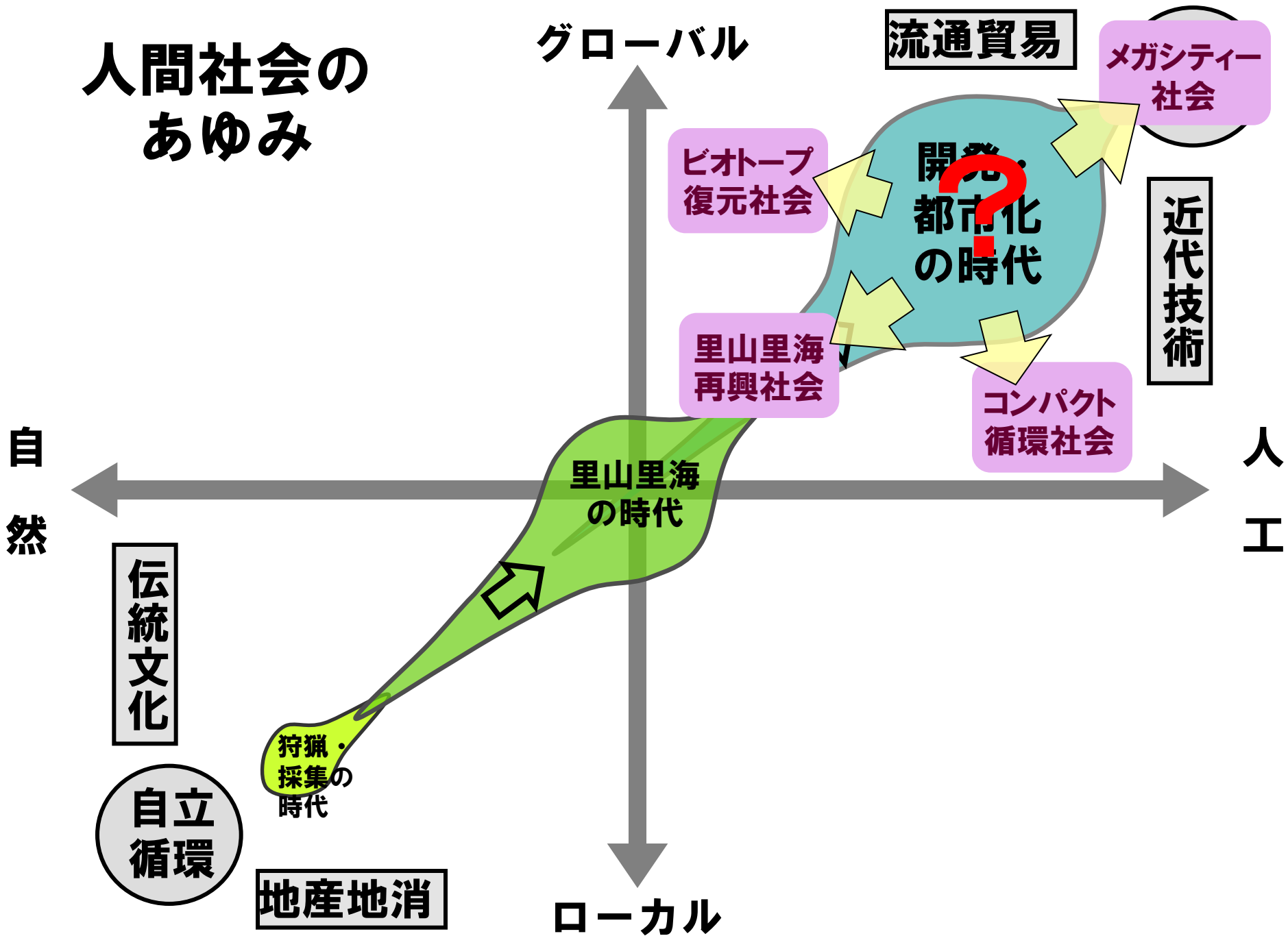
自然

人工

伝統
文化

自立
循環

人間社会の あゆみ



里山里海の 地域レベルシナリオ

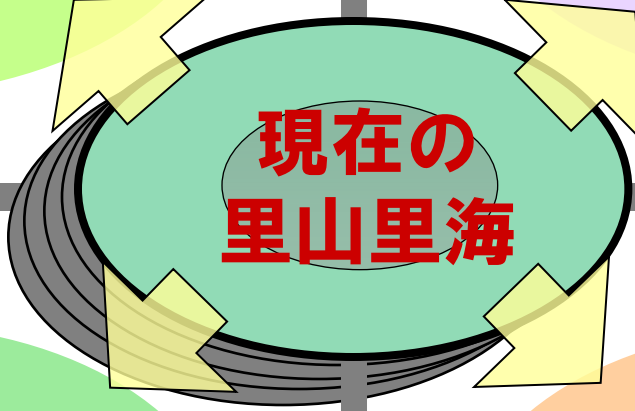
交流貿易（グローバル）

ガーデニングむら
里山里海

テクノタウン
里山里海

自然文化
（自然）

近代技術
（人工）



故郷のいなか
里山里海

ふるさとタウン
里山里海

地産地消（ローカル）

交流貿易（グローバル）

ガーデニングむら里山里海

テクノタウン里山里海

農林漁業

- ・海外資本・労働力による環境保全型産業
- ・バイオエタノール, 大型自然エネルギー
- ・土地利用型農業でのグローバル作物栽培
- ・山林を活用したユーカリ植林
- ・外来魚介類の放流・活用

農林漁業

- ・海外資本・労働力による生産重視型産業
- ・原子力発電, 新エネルギー
- ・植物工場でのグローバル作物の栽培
- ・樹木畑でのユーカリ植林
- ・外来魚介類の屋内人工養殖

家屋 娯楽 お祭り 制度 生き物

- ログハウス, 木材チップストーブ
- グリーン・エコツーリズム, ガーデニング
- 世界フラワーフェスティバル
- 国際交流の促進, 海外文化の導入
- 世界から集められた動物・植物園

家屋 娯楽 お祭り 制度 生き物

- 高層ビル住宅, 全自動セントラル冷暖房
- 立体映像シアター, 屋内スポーツ場
- テーマパークのパレードイベント
- 海外の企業誘致・労働者のリクルート
- 遺伝子組み換え新生物

対応: 環境国際認証, 有機無農薬, 冬期湛水

対応: 集約化・大規模化, 遺伝子組換作物の奨励

自然文化（自然）

近代技術（人工）

現在の里山里海

農林漁業

- ・地域資本・労働力による環境保全型産業
- ・雑木の薪炭利用, 水車・風車の力
- ・土地利用型農業での郷土作物栽培
- ・山林を活用した長伐期林業
- ・伝統漁法、資源管理型漁業

農林漁業

- ・地域資本・労働力による生産重視型産業
- ・ソーラー・風力エネルギー, ミニ水力発電
- ・ガラス温室等人工施設での郷土作物の栽培
- ・樹木畑での在来樹木による林業
- ・在来魚介類の屋内人工養殖

家屋 娯楽 お祭り 制度 生き物

- 木造茅葺家屋, いろり・こたつ
- 山野草採集・キノコ狩り, 魚釣り, 講の集まり
- 氏子の祭, 地域の芸能大会・運動会
- 谷津田・棚田オーナー制度, 地元学
- コウノトリやトキの再来

家屋 娯楽 お祭り 制度 生き物

- 省エネ型集合住宅, 太陽熱暖房
- 公園アート・スポーツ, 町並み探検ツアー
- 郷土芸術祭, 街路イルミネーションイベント
- 地域発信の先端的技術の奨励
- 屋上ビオトープのメダカやトンボ

対応: 地方分権, 有機無農薬, 冬期湛水, 環境直接支払

対応: 地方分権, 集約化・大規模化, 郷土作物品種改良

故郷のいなか里山里海

ふるさとタウン里山里海

地産地消（ローカル）

人が協働する力

おもい

利害

愛情

血縁

人間社会の あゆみ

グローバル

開発・
都市化
の時代

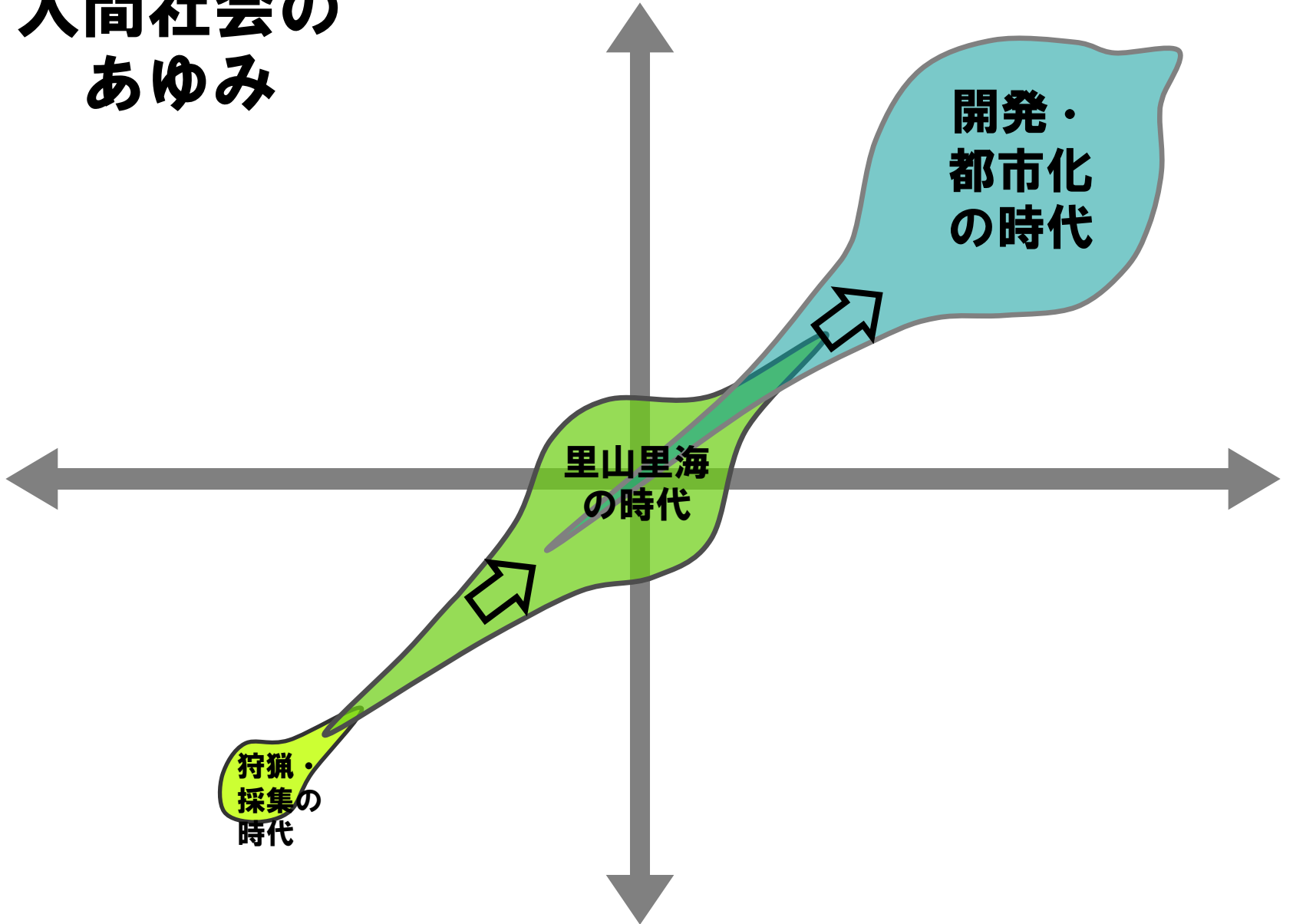
里山里海
の時代

狩猟・
採集の
時代

人工

自然

ローカル



人が協働する力

広域（グローバル）

おもい

開発・
都市の時代
利害

精神的
（自然）

経済的
（人工）

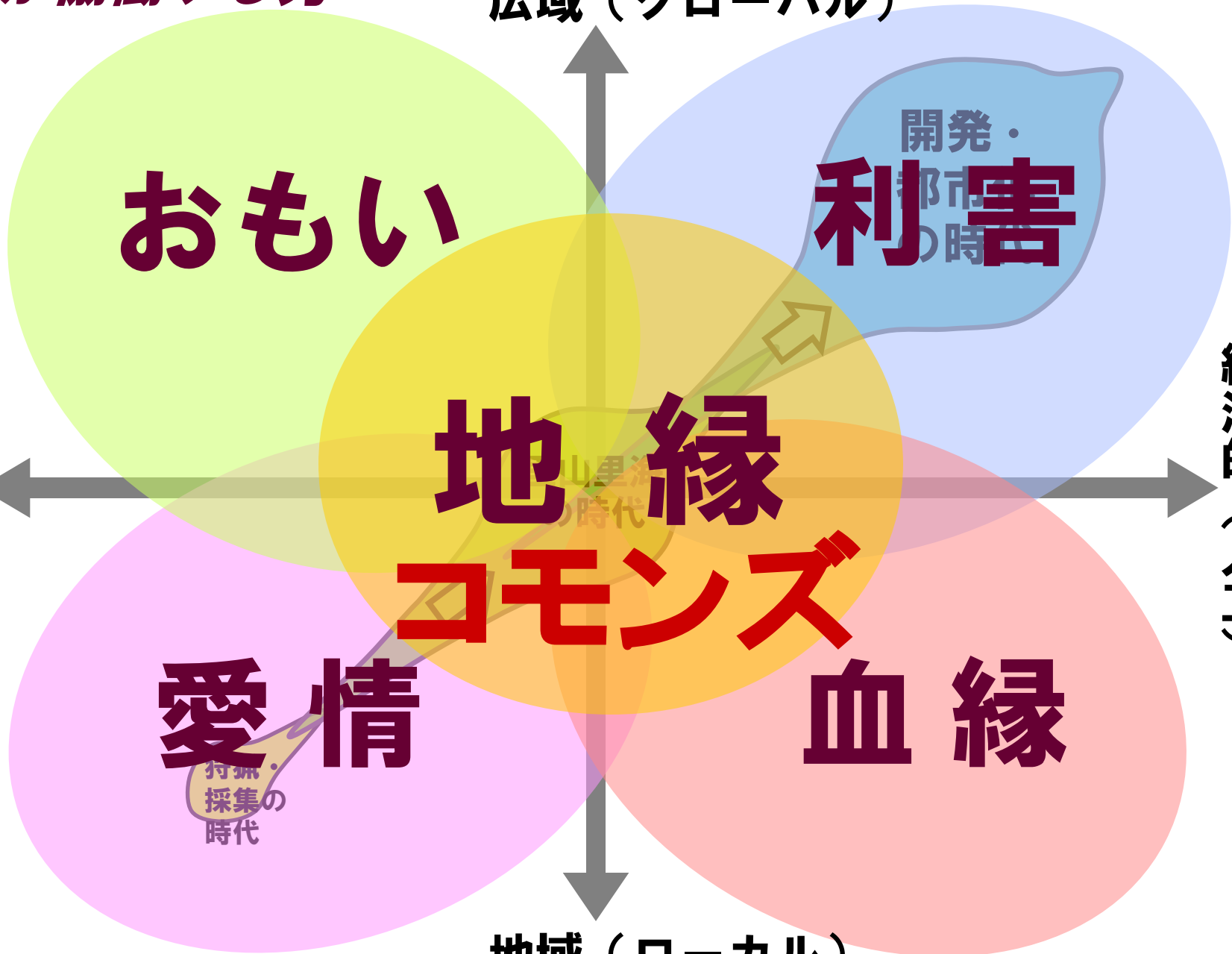
地縁
山梨の時代

コモンズ

愛情
狩猟・
採集の時代

血縁

地域（ローカル）



里山里海の再興の将来シナリオ 里山里海イニシアティブ



「人・自然・文化の調和・共存を目指して！」

- **地域の生物多様性と生態系，そして人々の文化を守り，持続可能な地球環境の保持・復元。**
- **経済効果を追求し続ける社会から，生物・生命・いのちの価値観を軸とする社会へのパラダイムシフト。**
- **地縁に基づくニューコモンスを核とし，都市と里山里海が互いに補完し合う，自立・循環のシステムづくり。**

「8つの行動プラン」(JSSA関東・中部報告に基づく)

A1. 生物多様性と生態系の把握とモニタリング体制の構築

- ・都および各県や政令指定都市等に「生物多様性研究所」の設置・地方自治体での生物多様性担当職員の配置・生物多様性に関する標本・資料の収集・整理・保存
- ・市民・NPOによる生物の分布・生態調査および環境評価

A2. 地域固有の生物多様性と生態系の保全・再生

- ・流域の生態系ネットワークの構築・水辺や森林による生物回廊の設置・水源・湧水地の保全・地域住民によるRDB生物の保護・増殖活動・郷土の野生生物保護地域の設置
- ・干潟の復元と水辺の復元・総合治水によるダムや堰をなくした川の連続性の回復・トキ・コウノリの再来を指標とした里山再生事業・乾田の冬期湛水による稲作

A3. 地域の伝統文化や固有技術の保存・活用

- ・地域文化・自然資産の登録・保護制度・地域自然文化のフィールドミュージアム展開・伝統的な棚田・谷津田や採草地の生態系保存・天然記念物・文化財の保護管理の充実
- ・伝統的農地・農漁法・農具・漁具の保存と再現・古老から子どもたちへの伝承や聞き書保存

A4. 環境負荷および生態系インパクトの低減

- ・省エネ・再利用の生活スタイル・無洗米の普及・コンポストによる家庭生ゴミの削減・深夜公共放送の短縮・企業と行政の環境保全の協定・企業と行政の環境保全の協定
- ・薪ストーブや木質燃料の開発・普及・水田や干潟の水質浄化機能の保全・屋上緑化や壁面緑化の拡大・農業や化学肥料の縮減

A5. 資源・エネルギーの外部依存の縮減

- ・地産地消の奨励・太陽光温水装置等による家庭熱源の確保・家庭用水車等の自家発電・ゴミの資源化政策・合併浄化そうの普及・バイオマス資源の開発・水田や森林による洪水防止・気象安定機能の拡大

A6. 環境コストの外部経済を内部化するシステムの構築

- ・「水源税」「みどり税」「環境税」の創設・拡大・廃棄処理コストを含めた販売価格の確立・農漁業産品の直売場の充実・地域の伝統産業の保護制度・環境保全の地域通貨

A7. 自由かつ公正な物流と情報の確保

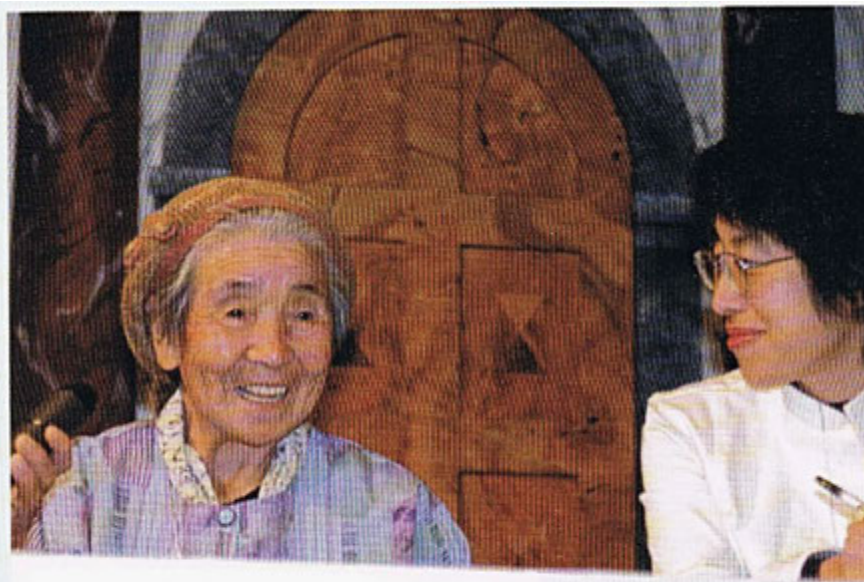
- ・地域の資源・エネルギーの自給率・依存率の算出・公表・トレイサビリティの拡充・地域の農産品種の保護

A8. 生物・生命・いのちの体験・教育

- ・学校教育，大学教育，社会教育での「生物多様性教育」の体系化と実践・子どもの生物・生命・いのちの体験不足からおきる変化の認識・研究・学校ビオトープや都市公園のポケットエコスペースの設置・森林セラピー・森林療育の拡大

人, 自然, 風土がいきる海浜文化

土(地元)の人と 風(外部)の人と の協働作業

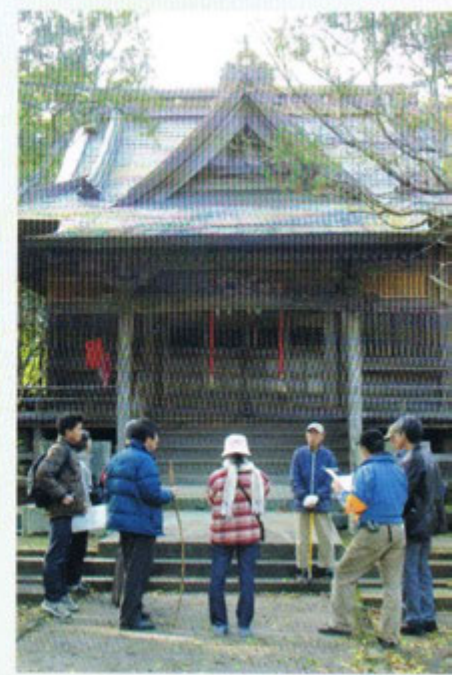


みんなで丸山町の魅力とその将来についての意見交換会。地元のおばあちゃんの話の中から驚くような魅力が発見される。

いくつかの
グループに
分かれての
地域めぐり



地元の人に説明を受けながら土地の魅力を発見する調査



たくさんの宝を発見



泊まりがけでの魅力と問題点の地図づくり作業



各コースのフィールド調査を一枚の大きな地図にまとめあげる。

魅力と問題点の地図の発表会



2日目の各コースの調査結果の発表会



**地元で生きる人
(土の人)
誇りを高める**

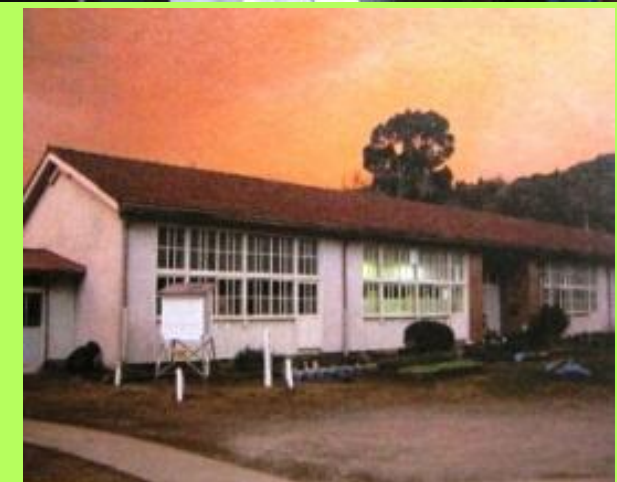
**外から訪れる人
(風の人)
魅力を発見する**



魅力と問題点の地図

千葉県立中央博物館 「房総の山のフィールド・ミュージアム」

清和県民の森を中心とした房総の山を舞台に、山の自然や文化そのものを資料や展示物と考える建物のない新しい博物館活動、君津市の三島小学校や公民館等と連携して、地域の人々と協働する博物館活動をおこない、山の分館の設置につなげていく。



おばあちゃんの畑

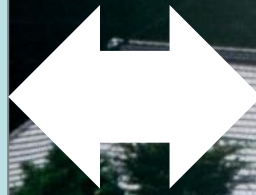


プロジェクト

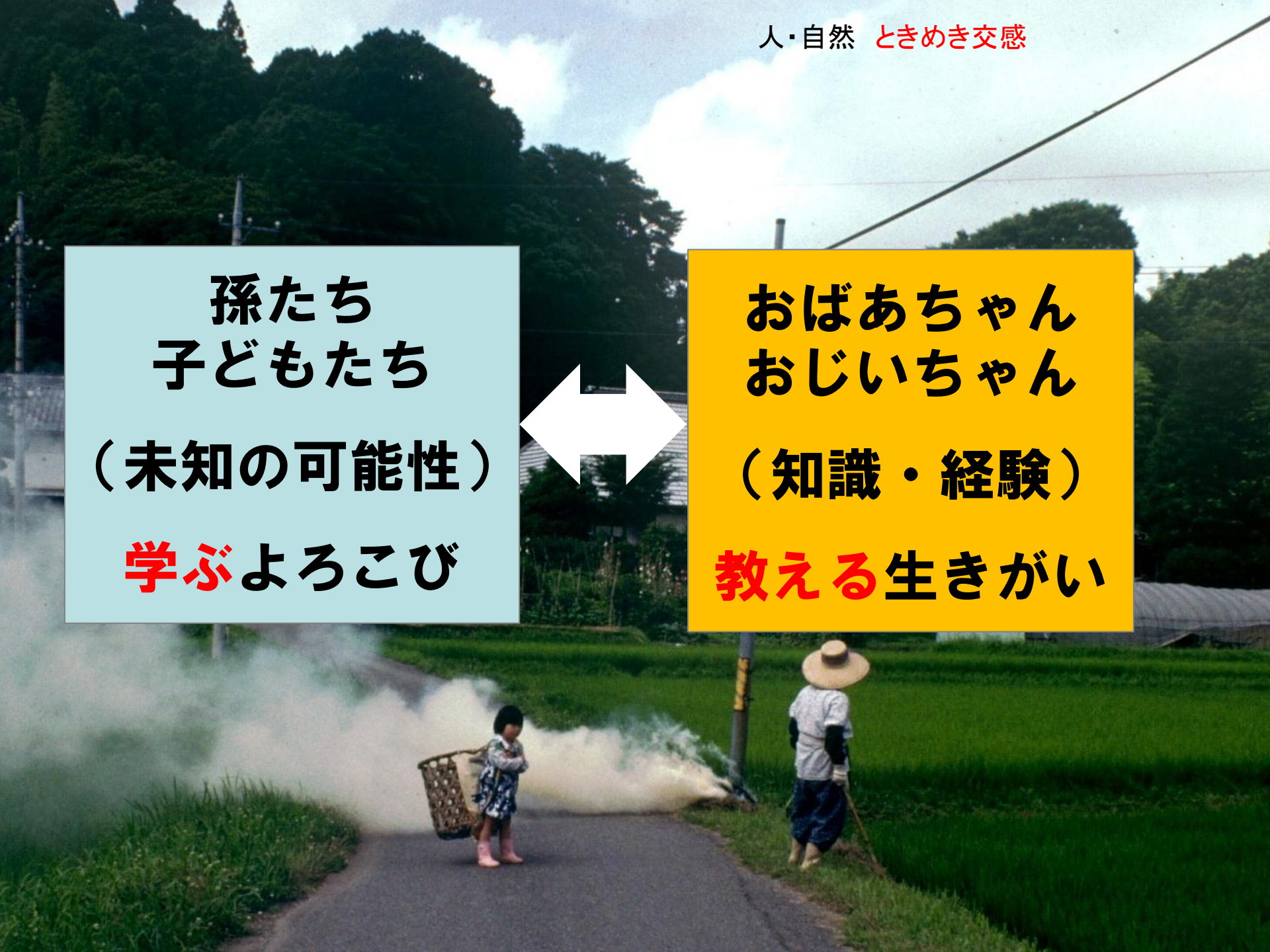


昔あった作物の品種
が発見された

**孫たち
子どもたち**
(未知の可能性)
学ぶよろこび



**おばあちゃん
おじいちゃん**
(知識・経験)
教える生きがい





鴨
ヶ
峰





鴨
ヶ
峰





人・自然・文化が調和する
生物多様性豊かな
里山里海を誇りとする地域創生



トキ 鴉



浜大漁,
岡万作

九十九里浜・片貝海岸



マイワシ 真鰯



カタクチイワシ 片口鰯



ウルメイワシ 潤目鰯



トキ 鴉



イヌマキ (ラカンマキ)



トキシウ (鴉草)



ハマナス (ハマナシ)

生命（いのち）のにぎわいとつながりを 子どもたちの未来へ



ご清聴ありがとうございました